

埼玉県立小児医療センター音声記録システム追加（５０式）業務仕様書

１．概要

本仕様書は「埼玉県立小児医療センター音声記録システム追加業務委託」（以下「本業務」という。）に関し必要な仕様を定めるものである。

２．背景と目的

埼玉県立小児医療センター（以下「本病院」という。）では、現在、電子カルテへの看護記録の入力に際して、検温等の記録や患者の状況の手書きメモを病室で作成し、スタッフステーションに戻った際にまとめて電子カルテに転記している。

電子カルテ端末（ノートパソコン）に音声記録システムを導入し、マイクから看護師の音声をテキスト変換し、電子カルテに直接入力することにより、正確で質の高い看護記録の作成と、手書きメモや転記時間の削減による効率化を図るものである。

３．調達範囲

- (1) 「別紙 機能要件」に示す機能の実現に必要な音声記録システム機器及びライセンス調達、サーバの構築・初期設定、端末設定及び導入支援を行うものとする。
- (2) 上記(1)に示したもののほかに必要と考えられる工程・物品等がある場合は、本病院と協議すること。

４．成果物

成果物の例を以下に示す。このほかに必要と思われるものについては、本病院と協議することとする。

- (1) 業務実施計画書
- (2) 打合せにおける議事録
- (3) システム構成図
- (4) 初期設定資料
- (5) 環境構築後評価・展開資料

５．納品期限

令和７年１１月３０日

６．納品形式

各成果物について、本病院と納品形式を協議の上決定し、決定した条件で提出すること。

7. 納品場所

ファイル及び紙媒体による成果物については、以下の場所へ納品すること。その他の成果物については、業務実施計画書作成時に本病院と協議のうえで決定する。

〒330-8777

埼玉県さいたま市中央区新都心1-2

埼玉県立小児医療センター

8. その他留意事項

(1) 共通事項

- ① 業務の遂行の際には、本病院からの指示事項及びその他必要事項について、十分協議を行うとともに、本病院担当者の指示を受けること。また、作業内容等について疑義が生じたときは、速やかに本病院担当者と協議のうえ対応すること。
- ② 本書に記載されていない作業であっても、システム構築に必要と考えられる作業で、比較的軽微なものについては、本業務内で対応すること。
- ③ 既存システムに関する資料は存在する限り提供するが、最新の状態でない場合があるため、既存システムの仕様を確認する必要がある場合は、実機の状態を確認して設計を実施すること。
- ④ 本業務の実施に要する費用は全て、受託者の負担とすること。

(2) 作業場所及び開発環境

- ① 本業務の作業場所は、受託者が用意すること。
- ② 本業務に必要な機器、ソフトウェア、ネットワーク等の開発環境は、受託者がその負担において用意すること。

(3) 業務の引継ぎに関する事項

- ① 本業務の契約履行期間の満了、全部若しくは一部の解除、又はその他契約の終了事由の如何を問わず、本業務が終了となる場合には、受託者は本病院の指示のもと、本業務終了日までに本病院が継続して本業務を遂行できるよう必要な措置を講じ、新規受託者に移行する作業の支援を行うこと。
- ② 業務引き継ぎに伴いデータ移行等が発生する場合、移行のために必要となるデータを汎用的なデータ形式（CSV等）に加工し提供すること。さらにファイル・データレイアウト等の資料を提供し、本病院又は新規受託者に対して協力すること。
- ③ 機器上に保存された一切のデータについては、これを消去すること。データ消去が完了した場合には、報告書を提出すること。

9. 再委託

本病院との契約事項に基づき運用する。

10. 知的財産権

本病院との契約事項に基づき運用する。

11. 契約不適合責任

本病院との契約事項に基づき運用する。

以上